「IRPA Guidance 翻訳WG」全体会合（事前打ち合わせ） 議事録

1. 日　時：　令和 2 年 12 月 29 日（火）16:00～17:10

2.場 所： ZoomによるWeb会議

3.出席者：　（順不同、敬称略）

メンバー

吉田（東北大、監修者）、野村（福井工業大学、幹事）、河野（原子力機構、幹事）、迫田（原子力機構、会計）、黒田（福島環境創造センター）、近本（JANUS）、廣田（広島大学）、恵谷（大分県立看護大学）、工藤（放影協）、内藤（産総研）、中嶌（原子力機構）

外部協力者

平杉（JANUS）/非学会員

4.議 事 ：

(1) 挨拶・WGの説明

吉田監修者からIRPA Guidance WGの活動にあたり、Working process for development of the IRPA Guidanceの資料を用いて、これまでの経緯に関する説明があった。

(2) WG各位から自己紹介

本日の本WGの出席者より自己紹介があった。

(3) 分担箇所について

・担当振り分け表（案）を用いて、野村幹事よりこれまでの各メンバーの希望に沿って分担箇所に関する紹介があった。各パートは、メンバーの希望に従い、2名程度になるように調整を行った。本日欠席者に一部確認する個所があるため、それは野村幹事の方で後日別途確認することとなった。

・翻訳する際には、国際的な認識と日本人の考え方には異なる点があることに留意する必要がある。本翻訳は、日本人に使いやすいようなものとしたいため、翻訳

する際にお困りの点があれば、WGにご相談いただきたい。

・本説明後、メンバーより単に翻訳するのではなく、翻訳してから次のステップも考えておくべきではないかといった意見もあった。

(4) スケジュール

吉田監修者より、今後のスケジュールについて以下の通り説明された。

・2021年1月15日まで　DeepLなどで粗訳を行い、抜けがないかどうか確認する。
進展状況を適宜幹事に報告

・2021年3月末まで 粗訳の表現を細かく改訂（表現の修正）
進展状況を適宜幹事に報告

・2021年6月末まで　　全体の訳自体を完成

・2021年10月末まで　体裁のアレンジ

・2021年12月末まで　JHPS,IRPAウェブサイトで公開

・今後はDropboxに関連資料を収納し、管理していくこととなった。また、翻訳作業の進捗管理もスムーズに行えるように、Googleスプレッドシートを用いて行う予定である。詳細は後ほど幹事より連絡する。

・今後の翻訳作業の進め方としては、パラグラフ毎に英語と日本語でセットにしてまとめていくこととなった。

(5) 第1回WG打ち合わせ日程

次回は粗訳を行った後に打合せを行うため、1月15日以降に実施することとなった。詳細な日時はメンバーのスケジュール調整後、幹事より連絡することとなった。

なお、この打ち合わせ会議は、WG設置期間の前に事前打ち合わせとして開催されたものであり、この議事録は参考とする。本議事録の内容は、2021年1月18日に実施された、第1回「IRPA Guidance 翻訳WG」全体会合において承認された。

以上